

決算報告

町民の皆さまから納めていただいた大切な税金が、どのような目的に使われたのか。その状況についてお知らせします。

問合せ
 静内庁舎総務課
 ☎ 49・0259 (直通)

●特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	収支
国民健康保険	28億 4,422万円	28億 5,360万円	▲938万円
後期高齢者医療	3億 2,958万円	3億 2,788万円	170万円
簡易水道事業	2億 3,282万円	2億 5,535万円	▲2,253万円
下水道事業	9億 6,798万円	11億 8,902万円	▲2億2,104万円
介護サービス事業	12億 5,499万円	15億 3,586万円	▲2億8,087万円
合計	56億 2,959万円	61億 6,171万円	▲5億3,212万円

*特別会計の歳入の合計56億2,959万円のうち、一般会計から11億5,064万円を繰り入れしています。

●特別会計の累積赤字(赤字)の状況

会計名	平成29年度までの黒字(赤字)の状況	平成30年度単年度の収支	平成30年度までの黒字(赤字)の状況
国民健康保険	▲1,152万円	214万円	▲938万円
後期高齢者医療	48万円	122万円	170万円
簡易水道事業	▲986万円	▲1,267万円	▲2,253万円
下水道事業	▲4,393万円	▲1億7,711万円	▲2億2,104万円
介護サービス事業	▲3,733万円	▲2億4,354万円	▲2億8,087万円

*国民健康保険特別会計では、一般会計から平成29年度に2億3,698万円、平成30年度に2億3,773万円を繰り入れしていますが、938万円の累積赤字が生じています。

*後期高齢者医療特別会計では、一般会計から平成29年度に9,471万円、平成30年度に9,714万円を繰り入れしています。

*簡易水道事業特別会計では、一般会計から平成29年度に4,661万円、平成30年度に4,643万円を繰り入れしていますが、2,253万円の累積赤字が生じています。

*下水道事業特別会計では、一般会計から平成29年度に6億4,883万円、平成30年度に5億794万円を繰り入れしていますが、2億2,104万円の累積赤字が生じています。

*介護サービス事業特別会計では、一般会計から平成29年度に4億6,766万円、平成30年度に2億6,140万円を繰り入れしていますが、2億8,087万円の累積赤字が生じています。

●企業会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	当年度純利益(純損失)
水道事業	5億8,644万円	7億600万円	4,071万円
病院事業	17億3,035万円	20億9,717万円	▲2億4,726万円

*当年度純利益は、歳入と歳出の差し引き額ではなく、経常利益に特別利益と特別損失といった臨時的な損益を含めた結果として当該年度の最終的な儲けを表しています。

*水道事業会計では、一般会計から平成29年度に3,687万円、平成30年度に1,818万円を繰り入れしています。7億円を超える余剰資金などがあるため、経営状況は安定しています。

*病院事業会計では、一般会計から平成29年度に4億1,373万円、平成30年度に4億5,545万円を繰り入れしていますが、2億4,726万円の純損失が生じています。

●企業会計の余剰資金および資金不足の状況

会計名	平成29年度末の資金状況	平成30年度末の資金状況
水道事業	7億1,779万5,334円	7億3,185万373円
病院事業	3,918万7,406円	▲2億6,584万8,859円

*余剰資金とは、保有する内部留保および手元資金などの金額になります。

特別会計の決算額
 歳入：56億 2,959万円
 歳出：61億 6,171万円

特別会計では、一般会計から合計11億5千万円を超える金額を繰り入れしていますが、それでもなお、5億3千万円を超える赤字が生じています。

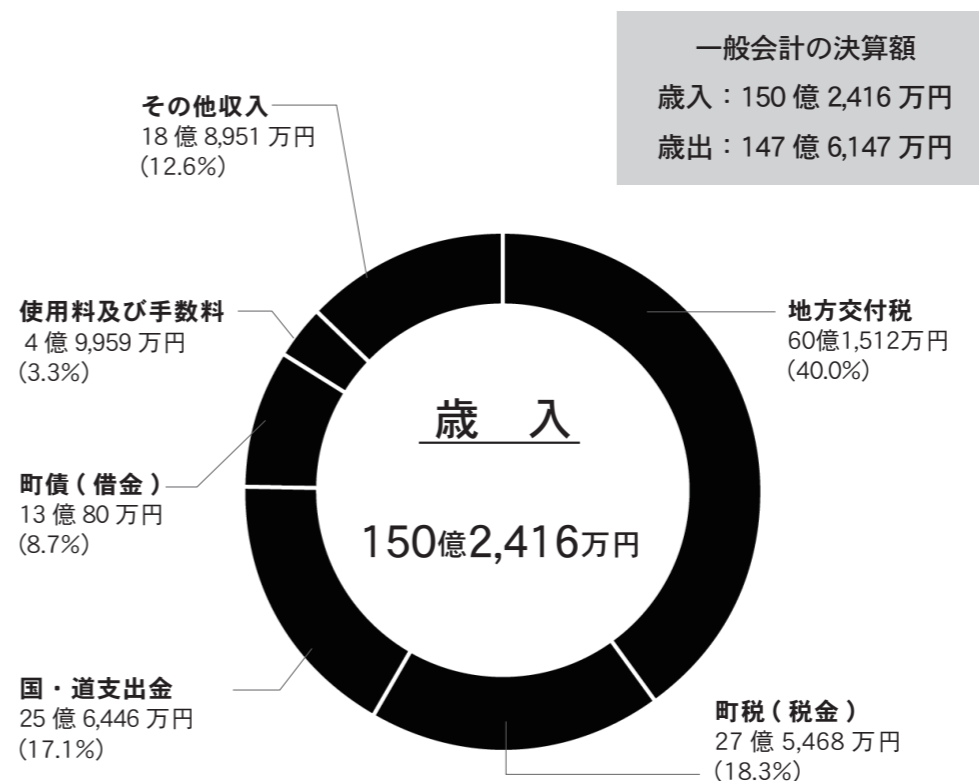
非常に厳しい経営状況が続いていることから、町では、経営改善のため、介護サービスの経営体制の見直しや、簡易水道事業および下水道事業の企業会計への移行に取り組んでいます。

企業会計の純利益(純損失)
 水道事業：4,071万円
 病院事業：▲2億4,726万円

企業会計では、水道事業の経営状況は安定していますが、病院事業で、平成30年度末に2億6千万円を超える資金不足が生じており、今後予測されます。公立

の病院として地域医療体制を維持するため、不採算な診療科目についても開設しており、厳しい経営に影響しています。

●一般会計の歳入の内訳



●一般会計の歳出の使いみち

